富山駅高架下の空間的な課題等について

資料　2－1

③

【 課題等 】
◎高架が低いため、
　西部エリアは1階建て

④

【 課題等 】
◎観光案内所・「クラルテ」及び「西部エリア」の
　視認が困難
　　○目立たない案内表示
　　○トランジット・ライティング・ウォール
　　○路面電車軌道を横断するという
　　物理的・心理的障壁

【 対応 】
⇒「西部エリア」の視認性確保（案内表示の充実）が
　必要か
⇒「西部エリア」は、地元客利用が多く見込まれる
　ことから、それに即した施設を検討か

⑤

【 課題等 】
◎対面には店舗がなく、賑わいに欠ける
◎東部エリアへの誘引のために重要なエリアであるにも
　関わらず、面積・形状上の制約（奥行4m、面積約200㎡）が
　あり、使途が限定的

【 対応 】
⇒人の往来が最も多いゾーンに面しているため、人を引き込む
　ような施設（商業施設・観光施設等）を配置するのが適当か
　（収益性の高い場所であることに留意が必要）

②

【 課題等 】
◎突き当たりにロータリー
　が見え、「行き止まり感」
　があるため、利用者の
　誘引力が弱い

【 対応 】
⇒案内表示など利用者が足を
　運ぶような工夫が必要か

⑥

【 課題等 】
◎駅の中2階により、天井高が
　低く、圧迫感を受ける
◎両側が駅施設であり、店舗の
　配置は不可

【 対応 】
⇒「東西自由通路エリア」まで引き込んだ
　利用者を、さらに「東部エリア」まで送り
　出す工夫が必要か

①

【 課題等 】
◎改札から出た際、総合案内所や
　商業施設の立地が分かりにくい
◎「とやマルシェ」、「東部エリア」は、
　背面に立地するため、誘引が課題

【 対応 】
⇒更なる案内表示の充実が必要か
⇒利用ニーズに応じた分かりやすい
　施設配置の検討も必要か

⑦

【 課題等 】
◎とやマルシェよりも更に東に位置し、
　奥まっている
◎対面が商業空間ではない
　（バックヤード、鉄道警察等）

【 対応 】
⇒東部エリア内における店舗・管理
　施設や出入口等の配置に工夫が
　必要か

⑧

【 課題等 】
◎「とやマルシェ」と「東部エリア」が
　東西自由通路によって分断

【 対応 】
⇒両高架下空間に一体感を持たせ
　る場合には、東西自由通路も取り
　込んだ工夫が必要か

⑨

【 課題等 】
◎条例等により看板掲出に制限あり

【 対応 】
⇒駅周辺における景観への配慮と、
　商業施設の立地の分かりやすさ
　をいかに両立させるか

↑ 南口正面より東側を臨む

↑ 南口正面より西側を臨む